

2012年11月19日

報道関係各位

北海道の豊かな大自然を使用した新デザインで地産地消を応援！

『ジョージア サントスプレミアム 北海道限定デザイン』

「大雪山」「十勝平野」デザインが新しく仲間入り

11月26日(月)より北海道限定販売

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市清田区 社長:矢吹健次)は、発売以来19年間にわたり北海道の皆様にも愛され続けている「ジョージア サントスプレミアム 北海道デザイン」に新たに「大雪山」と「十勝平野」の2つのデザインを追加いたします。現在展開中の「大沼」「釧路湿原」同様に、北海道の豊かな大自然を使用したデザイン4種類で11月26日(月)から北海道限定で発売いたします。



「ジョージア サントスプレミアム 北海道限定デザイン」
190g缶 / メーカー希望小売価格:120円(消費税込)

「ジョージア サントスプレミアム」は 1993 年の発売以来、北海道の多くのお客様に親しまれているロングセラー商品です。

原材料には北海道産の乳・糖・生クリームを使用し、北海道の地産地消を応援するとともに、売上の一部を北海道の環境保護活動に寄付することで、北海道の豊かな自然環境保全に継続的に取り組んでおります。(参考参照)

これまでの「大沼」「釧路湿原」デザインに加え、今回、新たに「大雪山」「十勝平野」デザインを追加することにより、より一層、北海道の素晴らしい景観をお届けできるパッケージとなりました。これからも事業活動を通し、北海道の素晴らしさを応援し続けていきたいと考えています。

< 製品概要 >

製品名： ジョージア サントスプレミアム 北海道限定デザイン

品名： コーヒー

原材料名： 砂糖、コーヒー、全粉乳、クリーム、香料、乳化剤、カゼイン Na、安定剤(カラギナン)

カロリー： 190g 缶 ... 32Kcal / 100g

280mlPET ... 33Kcal / 100ml

パッケージ/メーカー希望小売価格(消費税込)： 190g 缶 / 120 円

280mlPET / 130 円

発売日： 2012 年 11 月 26 日(月)

販売地域： 北海道限定

当社は「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道や地域の魅力をさらに高める活動を継続的に実行してまいります。これからも安心安全・住み良い地域づくりを応援する取り組みや、次世代を担う子どもたちへ環境を考える場を提供する活動などを、地元道産子企業として事業活動を通じて継続的に推進して参ります。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

広報・CSR推進部:担当 藤井

TEL : 011 - 888 - 2091

【参考】

1993年に発売した「ジョージア サントスプレミアム」は、19年間多くの北海道民に親しまれているロングセラー商品です。2006年6月には、より道民に愛される商品作りを目指し、世界自然遺産「知床」をデザインした北海道限定缶を開発いたしました。また、2007年11月からは北海道の自然保護活動を応援するため「環境保護活動の推進に関する協定」¹

に基づき、ご愛飲いただいた皆さまから北海道の環境を守ることへの気持ちをお預かりし、売上金の一部を販売数に応じて北海道に寄附する活動を開始いたしました。

そして、2009年11月からは、「北海道 e - 水プロジェクト」²を北海道と北海道環境財団の三者で取り組みを開始しました。従来、北海道に寄附していた売上金の一部を北海道環境財団に寄附し、北海道と協働事業として発展させ、環境保全に対する具体的な活動を行っております。

1.「ジョージア サントスプレミアム 北海道限定デザイン」の売上げ1ケース(190g缶30本入り)当たり15円を販売数量に応じて寄附。

2.「北海道 e - 水プロジェクト」

北海道限定で販売するコーヒー飲料「ジョージア サントスプレミアム 北海道限定デザイン」の売上の一部を寄附して実施するものです。ご愛飲いただいた皆さまから北海道の環境を守ることへの気持ちをお預かりして、同事業の運営費としており、本年度は年間約1,200万円(2400万本相当)の活動資金を予定しております。



この取り組みは、2009年11月に北海道と当社の間で環境保全に関する具体的な企画立案、並びに活動に取り組むパートナーシップ協定を締結し、この協定に基づく第一弾として、昨年度より北海道と北海道環境財団、そして当社の三者が協働で取り組む活動です。北海道の環境保護活動を継続的に推進するために、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り、次世代へと引き継いでいくプロジェクトです。

北海道内の水辺における環境保全活動を行う団体への助成・支援を通じた環境保全活動の促進、環境フォーラムの実施、パンフレット・教材等の作成を目的としていますが、この活動を通じて環境保全に関する取り組みがより広まり、さらに関心が高まることを期待しております。